

DENSAN

SEC-910

スーパーサウンド3Eチェッカー



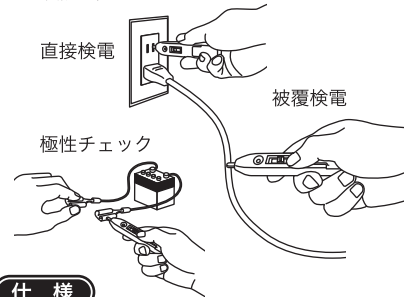
DENSAN

SEC-910

交流電圧の活線状態を接触・非接触で確認できる検電器

特長

- 音と光で検電
- 直接検電：コンセント等の充電部の端子に直接接触させて検電ができる。
- 被覆検電：ケーブルの被覆の上に当てるだけでAC100V以上の検電ができる。接地側、活線側の判別もできる。
- 導通テスト：回路・ケーブル等の導通テストができる。
- 極性チェック：電池の＋極性チェックができる。
- LED表示と電子音で動作確認がしやすい
- 感度調整付



仕様

使用電圧範囲：	直接検電・被覆検電 AC80V～300V 50/60Hz
付加機能：	導通テスト 10MΩ以下 DC極性チェック 1.2V～24V
動作表示：	赤色LED点灯、ブザー鳴動
絶縁耐力：	AC2000V 1分間 ゴム検電部～クリップ間
使用電池：	アルカリボタン電池 (LR44×2)※
電池寿命：	連続動作状態 6時間
使用温度範囲：	0℃～40℃
寸法：	116×19×20mm
質量：	26g (電池含む)

※付属の電池は動作確認用です。ご使用時は新しい電池をご用意ください。



4 9 3 7 8 9 7 0 3 1 2 3 6



ジェフコム株式会社
〒579-8014 東大阪市中石切町3-13-16

Lot No.

ジェフコム 検索
http://www.jefcom.co.jp



台紙 透明パック DS1AKF MADE IN CHINA



ジェフコム株式会社

直接
検電

被覆
検電

導通・極性
チェック

- 裸線・被覆線 両対応
- 電導ゴムの先端
- 感度調整付

音と光
でわかる
検電器

DENSAN

SEC-910

取扱説明書

このたびは、スーパーサウンド3Eチェッカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

ご使用前に必ず説明書をお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

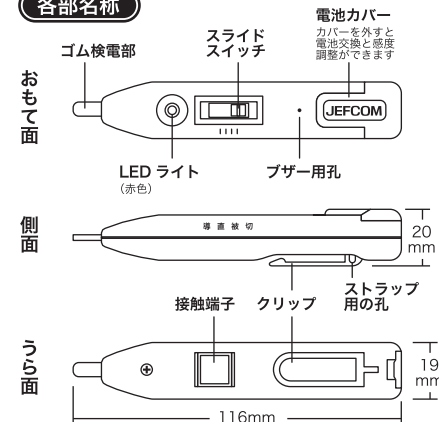
警告

- ご使用前に必ず既知の電源で確認してください。
- 高電圧(600V以上)には使用しないでください。感電の恐れがあります。
- 本器を無断で改造したり分解しないでください。重大な事故の原因になる恐れがあります。

注意

- 使用を開始する前に外観構造等に異常がないかを点検してください。
- 接地されていない金属管、ケース等は誘導電圧で動作することがあります。
- 保管する場合は直射日光の当たらない乾燥した所に保管してください。
- 本説明書に記載されている用途以外には絶対使用しないでください。
- 子供に触れさせないでください。
- ほとりの多い場所、水に濡れる場所では使用しないでください。
- 落下、振動、衝撃など強い力が加わらないように注意してください。故障の原因になります。
- 長期間使用しないときは電池を取り外して保管してください。

各部名称



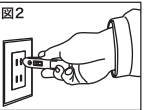
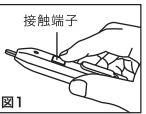
ご使用前の確認

- ・切替スイッチを「切」から「被」にすると、LEDが発光・ブザーが「ピッ」と発音します。この時、動作しない、発光・発音が弱い場合は電池を交換してください。
- ・既知電源で動作確認を行い、感度を確認・調整してから使用してください。
- ・ご使用後はスライドスイッチを「切」にしてください。

使用方法

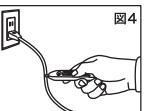
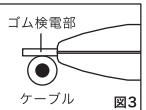
直接検電

- 直接導体に触れて検電する場合
- ①スライドスイッチを「直」にします。
 - ②接触端子を触れながら(図1)、ゴム検電部をコンセント等の充電部の端子に直接あてます。(図2)
 - ③非接地側(活線側)の導体に触れた場合は、LED点灯・ブザー鳴動します。
 - ④接地側の場合は反応しません。
- すべてのモード(直・被・導)でのLED点灯、ブザー鳴動は、連続点灯、連続音「ピー」の1種類のみです。



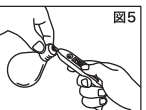
被覆検電

- 被覆の上から検電する場合
- ①スライドスイッチを「被」にします。
 - ②接触端子を触れながら(図1)、ゴム検電部の根元をケーブルの被覆にあてます。(図3・図4)
 - ③非接地側(活線側)の導体に触れた場合は、LED点灯・ブザー鳴動します。
 - ④接地側の場合は反応しません。



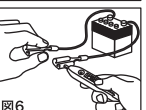
導通テスト

- ①スライドスイッチを「導」にします。
- ②接触端子を触れながら(図1)、片方の導体に手を触れると共に、もう一方の導体にゴム検電部をあてます。(図5)
- ③導通している場合は、LED点灯・ブザー鳴動します。



直流電源の極性チェック

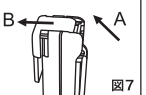
- ①スライドスイッチを「導」にします。
 - ②接触端子を触れながら(図1)、片方の導体に手を触れると共に、もう一方の導体にゴム検電部をあてます。(図6)
 - ③ゴム検電部を当てた部分が(+)極性の場合は、LED点灯・ブザー鳴動します。(－)極性の場合は反応しません。
- 注意：電源電圧が0.8V以下の場合は極性の判別はできません。



カバーを矢印Aの方向に押しながらB方向にスライドさせて外します。

感度調整

1. 電池カバーを外します。(図7)
 2. スライドスイッチを「被」にします。
 3. ケーブルにゴム検電部をあて、小型ドライバーで感度調整ボリュームを回し調整します。(図8)
- 右回り(H側)：感度が高くなり、低い電圧で反応します。
左回り(L側)：感度が低くなり、高い電圧で反応します。

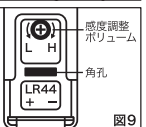


※感度は電線の種類・環境により異なります。使用する条件に合わせて感度を調整してください。

電池の交換方法

1. スライドスイッチを「切」にします。
2. 電池カバーを外します。(図7)
3. 電池を外し、新しい電池と交換します。電池を装着する時は＋/－の間違いがないようにしてください。
4. 電池カバーを付けます。

※注意：付属の電池は動作確認用です。ご使用時は新しい電池をご用意ください。



電池が外れにくい場合は小型の(－)ドライバーを、角孔の中に差し込んで電池を出してください。